

令和5年度 多摩市立鶴牧中学校 学校評価書

学校教育目標	
<ul style="list-style-type: none"> 創造性に富み、実行力ある生徒 心身ともに健康で活気に満ちた生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 自他敬愛の心を持ち、奉仕する生徒
目指す学校像(学校経営ビジョン)	
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の充実した学びを実現するとともに、豊かな心や健やかな体を育む学校 グローバル化する社会の中で活躍できる資質や能力を育む学校 保護者から信頼され、我が子を通わせたい学校 教職員が明るく活気にあふれ、働き甲斐のある学校 地域と協働し、信頼・協力を得ながら、体験活動を通して主体的に学べる学校 	
目指す子供像	目指す教師像
<ul style="list-style-type: none"> 主体的に考え、学んだことを実生活に生かそうとする生徒 自他の生命を尊重し、心豊かで思いやりのある生徒 自らの健康や体力に関心を持ち、向上を目指して行動できる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒理解に努め、分かる授業を実践する教師 組織の一員としての自覚を持ち、行動する教師 保護者や地域と連携して教育活動を行う教師

Ⅰ 自己評価結果と学校関係者評価の状況

(1) 確かな学力の育成

重点目標	わかりやすい授業づくりに取り組むとともに、学習した英語を実践的に活用する力の育成を図る。			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
【生徒アンケート】 各教科の授業がわかりやすい (92%以上)	4	1年生95.4%、2年生90.9%、3年生95.5%、全学年全教科の平均値93.9%が肯定的な回答であった。	A	<ul style="list-style-type: none"> 2年生が低いが、何か理由があるか？目標は達成しているといえる。 全体的に高い水準にあり、ほぼ目標を達成している。 貴重な体験活動を充実させている。評語は4でよい。
【全国学力調査】 平均正答率が全国平均値を上回っている(10%以上)	3	国語、数学、英語の3教科の平均正答率は、全国の平均正答率より9.87%高いが、目標の10%はわずかに下回った。	A	
【保護者アンケート】 ESD(国際理解教育)に関する教育活動が展開されている(年3回以上)	3	ワールドキャンパスとの交流や国際理解授業、TTGGなど外国人との交流活動を実施した。	C	
評価のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすく、生徒が主体的に参加できる授業を目指し、ICT機器の効果的な活用や対話的・協働的な学びの一層の推進を今後も図っていくことが大切である。 英語の学習を実践的に生かす機会を設けるとともに、特色ある教育活動に主体的・積極的に参加する生徒を増やす工夫をしていくことが重要である。 			

【評語について】

自己評価			学校関係者評価	
評語	達成状況	成果指標	評語	自己評価の適切さ
4	申し分なく達成した	90%以上～100%	A	適切である
3	おおむね達成した	70%以上～90%未満	B	おおむね適切である
2	やや下回った	40%以上～70%未満	C	適切でない
1	大きく下回った	40%未満	D	評価は困難である

(2) 豊かな心の育成

重点目標	お互いの個性を尊重するとともに、生徒にとって楽しく、いじめのない学校づくりを目指す。			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
【生徒アンケート】 学校に通うのが楽しい (94%以上)	4	肯定的評価の生徒は94.3%であり、前年度から0.9%上昇した。さらに数値を高めたい。	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校に通うのが楽しいと回答した生徒が94.3%と評価できる。 保護者アンケートの「わからない」という回答を減らす対応が必要である。 不登校出現率が減っていることは大変評価できる。
【保護者アンケート】 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる(90%以上)	3	肯定的評価が86.4%、わからないという回答が8.3%であった。今後も継続して取り組む。	A	
【統計調査】 不登校の生徒の減少に向けて取り組む(前年度から出現率を減少させる)	3	サポートルームの設置などの取組により、不登校の出現率は前年度比で42%の減少となった。	A	
評価のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 「学校に通うのが楽しい」と100%の生徒が答えられる学校づくりを目指す。 保護者アンケートによる「わからない」という回答率を低下させるためにはさらなる情報発信や家庭との密な連携を行う必要がある。 不登校の出現率を低下させる取組をさらに工夫していくことが重要である。 			

(3) 健やかな体の育成

重点目標	自らの健康や体力に関心をもつとともに、学習した内容を日常生活等の場面で積極的に活用しようとする態度を育む。			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営協議会委員の意見
【生徒アンケート】 運動やスポーツをもっとしたいと思う (80%以上)	3	79.0%の生徒が肯定的な回答であったが、前年度より1.6%減であった。男子平均は83.9%女子平均は74.2%であった。	A	<ul style="list-style-type: none"> 個人の能力の問題も大きく関与していると思われる。 学校では十分に指導してもらっている。家庭の考え方もある。評語は4でもよい。 学校の指導というところもあるが、個人の能力によるところも多い。評語は3でよい。
【保護者アンケート】 生徒は朝食をきちんと食べている (95%以上)	3	91.7%の生徒が肯定的な回答をしている。逆に食べない生徒も3.4%おり、減らしていきたい。	C	
【体カテスト】 体カテストの各学年の指標が前年度を上回った(前年度比プラス)	2	女子は全学年で前年度の指標を上回ったが、男子は全学年で下回った。トータルでは前年度と変わらなかった。	C	
評価のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 運動等への興味・関心は2極化の傾向が見られる。運動する習慣があまりない生徒に対して、興味をもたせたり、意義や効果を理解させていく必要がある。 家庭の教育力の高さにより、朝食をきちんと食べている生徒の割合は高い。食育や家庭科等の授業を通して、割合をさらに高めていきたい。 			

(4) 家庭や地域との連携

重点目標	学校連絡協議会や地域学校協働活動推進本部を始め、様々な団体と協力し、学校教育の質的向上を図る。		
評価項目	自己評価		学校関係者評価
	評語	現状の分析と改善策	評語 学校運営協議会委員の意見
【参加生徒数】 水曜サプリア TTGG、TED などに積極的に参加した(延べ900名以上)	3	水曜サプリアや TTGG、TED など国際理解教育に関連する、特色ある教育活動への延べ参加生徒数は730名であった。	A ・良い活動を行っている。今後も充実させてもらいたい。
【保護者アンケート】 学校だよりやホームページ等で情報を積極的に発信している(93%以上)	4	肯定的評価が93.7%であった。現在、学校だよりや学年だよりを紙媒体で配布しているが、電子媒体での配布が課題である。	A ホームページの更新等、情報発信を積極的に行っている。
【実施回数】 地域や関係機関を講師とした取組を展開する(各学年学期1回以上)	3	セーフティ教室や講演会、笑顔と学びのプロジェクト、ダンス講習、国際理解授業など外部と連携した取組を計画的に実施した。	A ・地域を講師としたよい取組が様々な形で進められている。
評価のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々や大学と連携した英検の取得に向けた学習活動や英語による外国人等との交流活動は今後も継続させるとともに、参加者数を増やしていきたい。 ・英語活動に限らず、地域や外部機関等と連携し、体験的に学ぶことは有効である。各学年、学期に1回以上を目安として、今後も取組を充実させていく。 		

2 次年度に向けた学校経営の方向性、課題等

<p><学校経営の方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業において、ICT機器の効果的な活用や対話的・協働的な学びの充実を図る等の取組を通して、主体的に学習に取り組む態度を育成するとともに、思考力・判断力・表現力を向上させ、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させる。 ・生徒が主体となる学校生活を目指し、体験的な活動や生徒会活動等を充実させたり、お互いを理解し、尊重する態度を育むこと等により、いじめや暴力がなく、楽しく生活できる学校づくりに取り組む。 ・健康や体力に関心をもち、向上を図ろうとする態度を育てる。 ・国際理解教育や防災・減災教育、環境教育等を中心に、ESDを推進するとともに、SDGs の達成を目指して、創造的に取り組もうとする態度や能力を育む。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒の減少を目指し、組織的・計画的に取り組む。 ・令和6・7年度に大規模改修工事を実施するが、教育の質の維持・向上に努める。
--

以上のとおり報告いたします。

令和6年3月1日

多摩市立鶴牧中学校 校長 福田 洋一

公印

令和5年度 学校評価書



多摩市立鶴牧中学校